

会 議 録

会議名	第４回木更津飛行場周辺まちづくり実施計画策定検討委員会		
開催日	令和５年１２月２５日（月）	場 所	駅前庁舎８階 防災室・会議室
時 間	午前１０時００分～午前１１時３０分		
出席者	委員：北野幸樹委員、土田寛委員、吉武美由紀委員、青木健委員、 中原まどか委員、中村悌己委員、萩本亜矢委員、石井宏典委員、秋元淳委員 事務局：企画部 品川次長 地域政策室 鈴木室長、鵜田係長、鈴木主任主事 株式会社日建設計 犬塚氏、渡辺氏 （木更津飛行場周辺まちづくり実施計画（吾妻公園）策定支援業務受託者）		
議 題	１ 木更津飛行場周辺まちづくり実施計画（吾妻公園）（素案）の内容について		
公開・非公開の別	議題１ 公開		
傍聴者数	８人		
配付資料	○会議次第 ○資料１ まちづくり実施計画（吾妻公園）（素案）内容報告		
会議概要	別紙のとおり		

【会議の概要】

○事務局（鵜田係長）

本日はお忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

本日の会議は公開で行わせていただきます。

また記録のため、録音、写真撮影をさせていただきますので、ご了承ください。

ご発言される際は、マイクのボタンを押した上でご発言いただきまして、終わりましたら再度オフに切り替えていただくようお願いいたします。

会議の傍聴を希望される方がおりますので、ここで傍聴人の方に入ってください。

【傍聴人入場】

それではただいまより、第4回木更津飛行場周辺まちづくり実施計画策定検討委員会を開催いたします。

本日の司会進行を務めさせていただきます企画部地域政策室の鵜田でございます。よろしくお願いいたします。

ここで会議の定足数についてご報告させていただきます。附属機関設置条例第6条の第2項の規定によりまして、会議は委員の半数以上の出席がなければ開くことができないとなっております。本日は山崎委員より事前に欠席の連絡を受けておりますが、全10名中9名のご出席をいただいておりますので、委員会は成立することをご報告させていただきます。

それでは初めに北野委員長よりご挨拶をいただきたいと思います。北野委員長よろしくお願いいたします。

○北野委員長

おはようございます。早いもので年内わずかとなりましたけれども、今回、第4回の委員会ということでございます。

最終的な取りまとめの、その前段階のまとめというような内容になっております。これまでのここでの議論の成果を確認しつつ、議論を深めさせていただいて、よりよい案となるように、皆様のご意見を賜ればと思います。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

○事務局（鵜田係長）

ありがとうございました。それでは、早速議事に入りたいと思います。

附属機関設置条例第6条第1項に、委員長が会議の議長となるとありますので、ここからの議事進行につきましては、北野委員長にお願いしたいと思います。北野委員長よろしくお願いいたします。

○北野委員長

それでは議事を進行させていただきます。

本日の議題は1件となっております。それでは議題1、「木更津飛行場周辺まちづくり実施計画（吾妻公園）（素案）の内容について」、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局（鈴木室長）

本日はこれまでの委員会でいただきました皆様からのご意見等を踏まえ、最終的に答申いただきます。まちづくり実施計画（吾妻公園）の前段となる素案の内容について、ご説明をさせていただきます。

今後、本内容をもとに、パブリックコメントや住民説明会を実施していく予定でございますので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

説明につきましては、策定支援業務委託の受託者でございます株式会社日建設計より行わせていただきます。よろしくお願いいたします。

【株式会社日建設より「資料1 まちづくり実施計画（吾妻公園）（素案）内容報告」を説明】

○北野委員長

議題1.「木更津飛行場周辺まちづくり実施計画（吾妻公園）（素案）の内容について」ご説明をいただきました。これらの内容について、ご意見ご質問等ございましたらお願いいたします。

○萩本委員

質問が三つありますので一つずつお伝えします。

まず大屋根ですが、改めて必要性和安全性について教えていただきたいです。というのも令和元年9月の大きな台風があった際に、家の庭のアンカー留めした物置が柵を破って飛んでいったんですね。そういうこともあり、屋根があることで日差しが遮られるなど、夏は涼しいこともありますが、下で遊んでる子供たちが怪我したら怖いなという心配もあります。ですので、まず必要性を教えていただきたいのと、安全性を説明していただきたいです。

○事務局（鍋田係長）

私からは大屋根の必要性について、ご説明をさせていただきます。

先ほどおっしゃっていただいたように、日陰で休める場所を確保していきたいというのに加えて、雨の時にも遊べる場所というのがなかなかない現状でもございますので、ここで雨もしのげる形で屋根を設けて、どのような天候でも公園に来ていただけるようにしたいということから、大屋根を設けさせていただきたいと思っております。

○日建設（甚内氏）

大屋根の安全性につきまして、私の方からご説明いたします。

まだ設計条件等々が確定していない中ですので、ご心配されているところにつきましては、今後、基本設計や実施設計の中で、そういった被害のないよう安全性を確保していくものと考えております。

屋根が飛んでいくというのは、やはり一番危ないと思われる懸念でございますので、特にそういった点には十分に配慮した形での対応をしていくということかと思えます。

○萩本委員

ありがとうございます。

二点目ですけれども、駐車場が北側に固まっておりますので、そこからホールに向かおうとすると、どうしてもメインエントランスよりも、サブの方を使いたくなる方が多いと思うのですが、そのような人の流れというか、サブエントランスを使いたい人をメインエントランスのほうに誘導するような工夫とかございますでしょうか。

○日建設（渡辺氏）

おっしゃられる通り、人の流れというのが、どうしても駐車場の方からくる方が多いだろうということで、心理的には1階のピロティを通して、サブエントランスに来る方が多いかなという風に思いますが、現段階では施設の東側の緑豊かな沿道としている部分を、設計段階などで魅力的な空間にして、できるだけ施設南のイベント広場方面に誘導していけるような、そういった空間づくりというのを、今後の設計段階で工夫していくことになろうかと思えます。

特に、このエントランス広場の盛土が、東側の敷地境界の方に少し迫ってるような感じもありますので、この盛土の法面の設えやランドスケープ的なところなども工夫をして、人の流れをできるだけ南側に誘導していければというふうに考えております。

○萩本委員

ありがとうございます。三点目です。

図書館、公民館の管理者が主に市で、ホールは別の管理者になるのかと思います。市民の立場として、例えばホールでピアノの発表会があり、その曲についての調べものを図書館でしたい、またその調べたものをスタジオで発表したいなどというときに、各施設を横断的に利用したいと思うのですが、管理者が違うことでそれぞれの施設にゼロからこういうことがやりたいという説明をしなければいけなくなるのかと懸念しています。

横断的に使うために、施設間の管理者同士の連携などスムーズにしていだけるといいなという要望ですが、何かそういった工夫の予定はありますでしょうか。

○事務局（鵜田係長）

まだ図書館、公民館も含めて管理者をどのような形でやっていくかというところは、今後の課題としておりますが、せっかく複合して一つの施設になりますので、例えばホールの演目に沿ったテーマのものを、図書館で特集展示するですとか、イベントに関して施設全体での連携は、色々考えられるのかなと思います。運営の方がどうなるのかにせよ、機能間の横断的な連携ということは今後、十分配慮して参りたいと考えております。

○北野委員長

今、横断的な利用というとても素敵なお意見いただいたところですけれども、まさしくこの空間の計画はそういう使われ方がなされるということが最も重要なところで、ぜひそういったことも含めて検討ができればと思いますので、よろしく願いいたします。

○中原委員

今、運営の話が出てきて、図書館と公民館の運営を直営にするか、また外部にお願いするかというのは、これから決定していく段階ということですが、私たち市民の意見として、私自身は直営での運営を希望します。

また、機能の連携という意味において、博物館など現在なかなか力が入れきれていないような施設もあるので、そういった外部とも連携できるような何かをしていただきたいなと思います。

設計はこれから具体的にということでしたが、図書館は図書館専門の設計者に依頼するなど、そういうことも可能なのでしょうか。

○事務局（鵜田係長）

設計の方に関しましては、今のところ施設や公園全体を含めた形で考えておりますので、図書館だけの設計というようなところは想定しておりません。あくまで施設全体として、設計を進めていきたいと考えております。

ただ、ホールや図書館など専門的な施設ですので、設計業者は同種の設計実績があるかなど、そういうところで見極めていきたいと考えております。

○中原委員

ありがとうございます。

そうしますと、今、図書館が専門的だというふうにおっしゃっていただいたのですが、図書館の専門知識のある方が、今後、こういった検討委員会のような場で一緒に議論することは可能なのでしょうか。

○事務局（鵜田係長）

まだ具体的に決めているわけではありませんが、来年、基本設計を進めていく中でも、関係者の皆様のご意見を頂戴する場をもうけていきたいと考えております。

そこには、例えば設計業者も同席をして、描いた設計案に対して、皆さまから意見をいただくなどしながらすすめていきたいと考えております。

○秋元委員

29ページの文化芸術施設の管理運営について、「指定管理者制度導入を基本としつつ、一部、市の直営による運営を含め、…」と書いてありますが、この指定管理者制度の導入を基本としつつという記述は必要がありますでしょうか。

先ほどの議論のように、図書館や公民館、ホールの管理運営について、慎重に議論を進めていくためには、もっと簡単な書き方しておいたほうがいいのかというふうに思っております。

○事務局（鵜田係長）

この表記に関しましては、昨年度策定いたしましたまちづくり基本計画でも同様の記述をさせていただいております。文化芸術施設の施設全体の管理に関しましては、指定管理者制度を基本としつつ、公民館や図書館などの部分について直営も含めて検討をすすめていくというような形で整理させていただいております。

基本的にはその考え方は変わっておらず、最終的な実施計画書に掲載させていただく内容に関しても、同様の考え方とさせていただきたいのですが、資料では、どの部分において指定管理者制度の導入を基本とするのか分かりにくいかなと思いますので、計画書での表現の見直しも含めて検討させていただきます。

○北野委員長

その他に何かご意見ご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

今回、第4回目で計画書のまとめに入っていく素案ということでご説明いただきましたが、年が明けるとパブリックコメント等々も含めて広く市民の方々からのご意見をいただきつつ、最終案を整理していくという形になろうかと思います。

その流れの中で、また何かお気づきの点等があれば、積極的にご意見を頂戴しつつ、市民の方々にも是非パブリックコメントにご参加いただいて、ご意見を頂戴できればと思いますので、委員の皆様にも、そういったことも含めてご協力いただければと思います。

本日の素案については、このような内容で整理をさせていただきます。

ご協力どうもありがとうございました。

○事務局（鵜田係長）

北野委員長ありがとうございました。委員の皆様におかれましても、長時間のご質疑ありがとうございました。

先ほど事務局からも説明がありました通り、本日、皆様からご了承いただきました素案の内容をもちまして、2月よりパブリックコメント等を実施して参りたいと考えております。

その後、いただいたご意見等も含めまして最終的な実施計画書の内容を、第5回の検討委員会でご審議いただければと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、第4回木更津飛行場周辺まちづくり実施計画策定検討委員会を終了させていただきます。

本日はありがとうございました。

上記会議録を証するため下記署名する。

令和6年1月30日

木更津飛行場周辺まちづくり実施計画策定検討委員会委員長 北野 幸樹